

葦原中だより

心にゆとりを

校長 山崎 祐一

人は誰でも我が身が一番大切な存在です。皆が自分の幸せを一番に願っています。次に家族や身内の幸せを願い、そして身近な人たちの幸せを願います。これは意識するしないに係らず、誰もが抱く感覚です。我が身が一番大切という思いは決してわがままでも利己主義ではなく、生物が持つ本能や命あるものの宿命であり当然の事と捉えています。

確かに我が身が大切とはいえるが、異なる他者への言動や世の中の出来事への過度な批判が余りにも限度を超えていると思っています。自分の価値観や判断規準にこだわり、自分と直接関係ない出来事でさえも容赦なくネット等で批判する人がいます。物事を「損か得か」「好きか嫌いか」「価値があるかないか」「正しいか正しくないか」…二者択一の基準でしか物事を捉えない人や自分を必死で守るうとする人が多いです。その結果、異なる考え方を持つ人は批判の対象となり、違いを受け入れる度量や心のゆとりが欠如している様に感じます。

教育現場では互いに意見を主張し合

うデイベート授業が一時流行しました。日本人は自己主張やその習慣や能力が足りないという調査結果から取り組んだデイベート授業です。ある課題を賛成と反対の立場から互いに論じ合い、最終的にどちらがよりよい主張をしたかを競い合うデイベート授業には素晴らしい実践も多くあります。しかし相手を論破するだけや主張する自分の姿に満足するだけに終始し、本来デイベートが持つ互いに尊重し合う視点や配慮に欠ける実践も多々みられました。過去に行われた小学校の公開授業では、ある小学5年生が言葉巧みな言い回しで自分の論を5分近く一方的に話していました。聞き手は黙ってただ聞いていただけで了後はお待ちかねの「葦原カレー」が振舞われました。子どもたちの顔から笑顔が溢れていきました。

情報が溢れる今、日々の息苦しさやストレスを「批判」「苦情」「自己主張」という形で解消している様に感じます。人の心（魂）が休まる居場所がない今の世界中で日本が大人気です。ある調査では行きたい国の一一位は日本だそうです。来日する外国人は年間500万人を超えて、日本文化や日本人の生き方に大きな感動を覚えると言います。一時期、欧米の取組を真似る実践も多くありました。今は欧米諸国が日本に学ぼうとした。しかし称賛と共にコミュニケーション能力とは「聴く力」が基本になりました。時に自己主張や批判も必要ですが、行き過ぎた自己主張や批判が虚で調和した日本文化や日本人らしい生き方を壊していく事を心配します。人生を批判し傷つけ合いイライラする大人の姿が子どもたちにどう映るか・ほんのひと時でも己の心の姿に思いを馳せたいものです。

- ハンカチ忘れゼロ達成賞 1年2組
- 跳躍する葦中生
- 納税表彰式開連
- 東入間警察署関連
- 川越税務署一日税務署長
- 第12回ストーム杯兼山下杯
- ベストファイト賞
- 埼玉県スキー連盟
- 強化育成選手

学校だより
12月号

在籍生徒数
12月1日現在
1年 81名
2年 104名
3年 100名
にじいろ学級 7名

学校所在地
〒356-0001
ふじみ野市川崎
310番地

★あしはらスポーツエスタ

11月8日(土)あしはらスポーツエスタが開催されました。当日は早朝

より健全育成会の会長さん、PTAの会長さん、学

校運営協議会の皆様、市スポーツ指導員の皆様をはじめ多数の地域の皆様にも早朝よりご準備いただきました。今回は小学生も参加して10種目に分かれて校庭・体育館・視聴覚室・多目的室でのスポーツ体験を行いました。終

つけない対応で解決し、広くゆったりして大なり小なりの矛盾を抱えています。そんな現実を先人たちは、落として心で物事を寛容に捉えていました。そこには多少の意見や考え方の違いを受け入れ、和を乱さない心遣いがあります。社会が急激に発展して新たな知識や情報が溢れる今、日々の息苦しさやストレスを「批判」「苦情」「自己主張」という形で解消している様に感じます。人の心（魂）が休まる居場所がない今の世界中で日本が大人気です。ある調査では行きたい国の一一位は日本だそうです。来日する外国人は年間500万人を超えて、日本文化や日本人の生き方に大きな感動を覚えると言います。一時期、欧米の取組を真似る実践も多くありました。今は欧米諸国が日本に学ぼうとしています。時に自己主張や批判も必要ですが、行き過ぎた自己主張や批判が虚で調和した日本文化や日本人らしい生き方を壊していく事を心配します。人生を批判し傷つけ合いイライラする大人の姿が子どもたちにどう映るか・ほんのひと時でも己の心の姿に思いを馳せたいものです。

★1年生校外学習

11月5日、1年生は川越方面に校外学習を実施しました。当日は班ごとに予定していた施設等を訪問して貴重な体験をしました。また班内の団結や協力の大切さも学びました。

★総合防災訓練

11月9日、ふじみ野市総合防災訓練が本校においても開催されました。学区内の町会の皆様が体育館に参集して災害時の対応を学びました。また女子バレーボール部員たちも訓練に参加しました。帰りに非常用のパン・リゾットと保存水が配られました。

★第5回卒業生

8月末、本校第5回卒業生の皆様が懐かしい母校である葦原中を訪問されました。その後、本校への感謝の気持ちとして金10万円をご寄付いただきました。大変ありがとうございました。本当にありがとうございました。帰りに非常用のパン・リゾットと保存水が配られました。

11月5日～11日の5日間、3年生対象の三者面談が行われました。学期も後半になり、進路決定の時期が近づいてきました。最終的な進路決定に向けて真剣な話し合いが行われました。3年生たちにとって的確な進路決定が行われる事を願っています。

★修学旅行保護者説明会

11月21日、本校にて2月に行われる修学旅行保護者説明会が開催されました。中学校時代の旅行的行事の集大成として冬の京都・奈良での2泊3日の体験は、一生忘れられない思い出になります。私も後者の男性の様に心にゆとりや余裕をもち、豊かな心で接せられる人になりたいです。

★3年生三者面談

11月5日～11日の5日間、3年生対象の三者面談が行われました。学期も後半になり、進路決定の時期が近づいてきました。最終的な進路決定に向けて真剣な話し合いが行われました。3年生たちにとって的確な進路決定が行われる事を願っています。

★アンサンブルコンテスト

11月11日、吹奏楽部はステラウンブルコンテストに参加しました。木管三重奏と管打楽器七重奏の2組が出場し、結果は2組とも金賞の栄誉に輝きました。素晴らしい演奏でした。

★スマイルーム

11月29日、霞ヶ丘UR集会所にてPTA主催の子育ての悩み等を語り合う「スマイルーム」が開催されました。今年度2回目の開催となりましたが、今回新たに中学校時代の子育ての悩みを経験した卒業生の親御さんからのお話を聞く事ができた貴重な場となりました。

★市内音楽会中止

11月20日、ステライーストにて令和7年度市内音楽祭が予定されていましたが、市内に蔓延し始めたインフルエンザの影響で今年度の中学生の部は中止という措置が取られました。大変残念でしたが、次年度に期待しています。

※つれづれなるままに・・・

★校長面接

9月25日から入試面接を想定した3年生対象の校長面接が始まり、1月18日に数名を残してほぼ終了しました。3年生たちはとても立派な態度で面接練習に取り組んでいました。今、入試面接を受けても合格できそうな生徒もたくさんいました。

★12月の学校等の予定

1日（月）	あいさつ運動①・清掃なし	
2日（火）	あいさつ運動②	
3日（水）	PTA本部会	
8日（月）	専門委員会	
10日（水）	スクールカウンセラー来校日 短縮5時間	
11日（木）	1・2年三者面談①・短縮4時間	
12日（金）	全校二者面談②・短縮4時間	
13日（土）	公開授業週間（～16日）	
14日（日）	全校二者面談③・短縮4時間	
15日（月）	全校二者面談④・短縮4時間	
16日（火）	全校二者面談⑤・短縮4時間	
17日（水）	全校二者面談⑥・短縮4時間	
18日（木）	第3回学校運営協議会	
19日（金）	給食最終日・短縮4時間	
20日（土）	スクールカウンセラー来校日 短縮3時間	
21日（日）	冬季休業日（～1/7）	
22日（月）		
23日（火）		
24日（水）	終業式・表彰式・部活動なし	
25日（木）		
26日（金）		
27日（土）		
28日（日）		
29日（月）	閉学日（～1/3）	
30日（火）	3学期始業式	

※慌ただしい年末・年始です。交通事故やお金に係るトラブルや不審者は十分注意しましょう。